

市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●

「川口市フロリアード2012 出展実行委員会」

オランダで10年に1度開催される国際園芸博覧会・フロリアード。そのイベントに川口市から出展し、地場産業である安行植木のPRと販路拡張や後継者の育成に資することを目的に設立された「川口市フロリアード2012出展実行委員会」のみなさんを岡村市長が訪問。展示内容や出展にける意気込みを伺いました。



市長 みなさんこんにちは。平成24年も早いもので2月に入りました。今月の市長のふれあい訪問は「川口市フロリアード2012出展実行委員会」のみなさんです。どうぞよろしくお願ひします。

はじめに委員長に伺いますが、フロリアード2012、これはどのようなイベントですか。これはオランダで10年に1回開催される園芸の国際博覧会で、今年の4月から10月までの半年間、オランダのフェンローで開催されます。

市長 実行委員会ということですが、どのようなメンバーで構成されていますか。

田中 川口市農業青年会議所のメンバーが主体となり、安行造園会、JAあゆみ野各地区の壮青年部など市内農業青年団体が構成されています。登録者は200人くらいになります。

市長 準備状況はどのような状況ですか。
草柳 先月11日に出発式を行い、

樹木などはオランダに向けて出港しており、我々は今月中に日本を出発する予定です。ただ緯度的にかなり高い場所です。現地とこちらの気温差がかなりあるので地面が凍っていないか心配です。

市長 それは大変ですね。

このフロリアード2012の開催規模はどの程度なのですか。
高津 世界から40カ国以上が出展する大きな博覧会です。川口市の出展規模は前回より小さくなりましたが、約250㎡の日本庭園を造ります。

市長 10年前の回は、川口市だけではなく日本のほかの地域からも出展しましたが、今回はどうですか。

小林 今回の屋外展示は川口の単独出展になります。

市長 日本を代表して出展するということはすごいことですね。
中田 単独出展なのでいろいろ



と大変なこともあります。日本の代表としてまた川口のみさんの代表として頑張ってきたと思います。

市長 ところで実行委員のみなさんの平均年齢は何歳になりますか。

椎橋 20代と50代で構成されていますが平均は30歳半ばくらいです。

市長 若いですね。緑化産業の次代を担う後継者のみなさんが頑張っているんですね。

椎橋 今回の出展に関しても、10年前に行った先輩方の指導を受けながら準備を進めました。前の世代から次の世代へ伝えて行くという、後継者育成の機会にもなっています。

市長 ご苦労されたことはあります。

中田 現地との連絡調整では、細かいところが伝わらず意思の疎通に苦労しましたが、みなさんに助けてもらいながらやりました。

小林 検疫が、10年前と比べ基準が厳しくなっており、センチュウという目に見えないような病害虫の駆除に苦労しました。

市長 みなさんと協調し先輩方の教えを受け継ぎ一つになっている、非常にいい関係ですね。それではみなさんの意気込みをお聞かせください。

田中 先輩方が積み重ねてきた実績を汚すことなく、精いっぱい庭を造ってきたと思います。
草柳 けがも事故もなく頑張っ



てきたいと思っています。
高津 一丸となって素晴らしい庭を造れるよう頑張ってきたと思います。

小林 川口、安行というブランドを守り続けるためにも頑張っています。

中田 日本の代表として恥ずかしくない、庭を造るよう頑張りたいと思います。

椎橋 今年はオリンピックがあります。我々も日の丸を背負った日本の代表だという意気込みをもって、一生懸命オランダでいい仕事をしてきたいと思っています。

市長 まさに「日の丸背負って」ですね。安行の緑化産業というのは江戸時代からの歴史と伝統ある川口の地場産業です。この緑化産業を活性化するためにもみんなで応援して、オランダの地で頑張っていたきたいと思っています。今日はありがとうございました。